

建築設備工事業における屋根、はり、もや、けた、合掌を起因物とする死傷災害発生事例（2017年）

2017年発生月	時間	死傷災害発生事例	年齢	労働者規模
5	10～11	民家の雨漏修理依頼のため屋根に登り、点検と雨漏箇所を捜索中、狭い箇所を見るため屋根瓦にうつ伏せになった時に胸を打ち、胸に痛みが出た。	58～9	1
9	8～9	テレビアンテナ工事の屋根の上での作業中、足を滑らせて転落したものである。	55～9	1
10	10～11	解体工事の、1階建ての屋根の解体中に、屋根上で解体する道具を運んでいる際に、誤って地面に落下し、左足の膝と右手小指を負傷したもの。	47～9	1
10	10～11	解体工事の、1階建ての屋根の解体中に、屋根上で解体する道具を運んでいる際に、誤って地面に落下し、左足のひざと右手小指を負傷したもの。	47～9	1
11	11～12	木造2階建住宅、6寸屋根塗装工事（スレート瓦）に伴い、太陽光パネルを取り外し屋根塗装完了後、同パネル取り付け工事時パネル取り付け用アルミフレーム（W60×H40×L1704mm）を既設支持金具に取り付け中、屋根面に足を滑らせ足場をスリ抜け約6m下の隣敷地コンクリート上に落下し、左側頭部脳挫傷、左肩甲骨骨折、左端骨盤骨折の負傷に至った。	30～9	1

Return to : https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_11.html